

Tanbahi**kami** Agriculture **Plan**

TAP21

2025 - 2027

第12次営農振興3カ年計画



—希望とうるおいのあるまちづくり—

 JA丹波ひかみ

contents

組合長あいさつ	1
第30回 JA全国大会決議 / 第36回 兵庫県JA大会決議	2
第12次営農振興3ヵ年計画	3
1. 環境変化に対応したブランド農畜産物の生産体制構築に取り組みます。	4～9
2. 地域農業の担い手確保により、未来に繋ぐ生産環境づくりに取り組みます。	10～12
3. 専門的な人材の育成と職員のスキルアップにより、JA営農指導の強化に取り組みます。	12
JA丹波ひかみ特産マップ	13

本冊子に記載されている営農支援策には、各助成とも予算枠があり、申込あるいは該当者多数により超過した場合は、予算の範囲内で按分いたします。
また、令和8年度以降は、内容を一部変更することがあります。

組合長あいさつ

丹波ひかみ農業協同組合
代表理事組合長

藤原 昌和



盛夏の候、組合員の皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、JA丹波ひかみの事業運営に格別のご指導・ご協力を賜っておりますこと、役職員一同厚くお礼申し上げます。

さて、わが国における農業を取り巻く環境は非常に不安定なものとなってきております。南海トラフ地震臨時情報の発表に端を発した令和5年産米の買い込み需要により、小売り現場でのコメ不足や流通価格の高騰が生じ、令和の米騒動とも呼ばれる事態が発生しました。現在も災害時の命綱ともいべき備蓄米が放出される一方で小売価格の高騰が続くなど、流通へも大きな影響を及ぼしており、先の見えない状況により食料の安全保障が脅かされております。

また、気候変動による夏期の高温少雨により全国で農産物への影響が発生し、管内を代表する特産物である丹波大納言小豆が大きな被害をうけ、過去に類を見ないような凶作となりました。

このような状況の中、JA丹波ひかみでは様々な環境変化に迅速に対応した施策を打ち出していく必要があると考えます。

一方、国においては25年ぶりに「食料・農業・農村基本法」の改正法が第213回通常国会で成立し、①食料の安定供給の確保②農業の有する多面的機能の発揮③農業の持続的な発展④農村の振興、についての方向性が示され、農業・農村への注目が一層高まっています。

また、丹波市においては、農業者の減少・高齢化により耕作放棄地の増加が一層進んでおり、2020年農林業センサスのデータでは基幹的農業従事者の平均年齢が72歳を超える状況となっております。

こうした情勢を受けて、当組合は第12次営農振興3ヵ年計画を策定し「農業所得の向上」、「農業生産の拡大」、「持続可能な農業実現」をめざし、役職員一同、皆さまとともに協同組合運動に全力を傾注してまいりますので、なお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

第30回 JA全国大会決議

組合員・地域とともに食と農を支える協同の力 ～ 協同活動と総合事業の好循環 ～

食料・農業への貢献

1 食料安全保障への貢献に向けた地域農業の実践

JAグループとして生産者と消費者の負託に応えるために、適地適作の観点から品目・地域実態をふまえた生産振興により、食料安全保障に貢献します。

2 次世代の確保や環境との調和を通じた持続可能な農業の実現

新規就農支援、第三者継承を含めた事業継承支援や生前の相続相談を通じた世代交代期における次世代組合員の確保を着実にすすめていきます。また、農業支援サービス事業体としての機能発揮・強化により地域農業を支える多様な農業者への支援を強化します。

3 農業所得の増大と国産農畜産物の安定供給

「国消国産」の実践として、地産地消の推進や輸入原材料の国産への切り替えに向けた対応を強化します。また、実需者・消費者ニーズへ対応する企業アライアンス等を通じた商品開発や輸出拡大を通じて、販売力の強化に取り組みます。

4 農業の担い手ニーズへの対応強化に向けた営農経済事業体制の整備

農業指導事業を中心に販売・購買・利用事業等が一体となって、営農経済事業の最適な体制・機能配置を検討し、デジタル技術の活用による営農指導の効率化・高度化と人材育成等に取り組みます。

(農業関連部門を要約・抜粋)

第36回 兵庫県JA大会決議

共に育む、地域の絆と農業の未来 ～ 兵庫県農業の維持・振興と県産農畜産物の販売力強化 ～

1 KPI(重要業績評価指標)を設定した地域営農振興計画の実践

地域農業を維持・振興し、担い手育成や農産物の生産拡大、農業者の所得増大に向けKPIを設定した地域農業振興計画を着実に実践し、各地域の特産品を振興します。

2 県産農畜産物の販売強化と水稻新品種の認知度向上等

都市部と農村部が共存した本県の地理的特徴を活用した本県農畜産物の県内販売の拡大、全国的な本県ブランドの販売強化、ひょうごの水稻オリジナル品種の認知度向上・生産拡大など、それぞれ販売量・販売高ともに伸長する戦略を実践します。

3 労働力支援やスマート農業技術の利活用等による生産・出荷負担の軽減

農業者の生産・出荷にかかる負担を軽減するため、出荷労力を軽減した集出荷形態、パートナー企業等やJAグループ兵庫農業求人サイトによる農業労働力支援、スマート農業技術を利活用します。

4 安全・安心で環境にも配慮した農畜産物の生産促進

より安全・安心で環境にも配慮した農畜産物の生産を促進するため、「よりよい営農活動」や環境調和型農業に向けた技術体系の普及を図ります。

5 適正(再生産可能)な価格形成へのPR運動・農政活動

県産農畜産物の消費拡大や適性(再生産可能)な価格形成に向け、マスコミ等も活用した実需者および消費者への国消国産等のPR運動や農政活動を展開します。

(農業関連部門を要約・抜粋)

第12次営農振興 3カ年計画

2025 - 2027

〈基本方針〉

丹波の農畜産物ブランド力向上に向けた
集荷量増大により、
持続可能な農業の実現をめざします

1 | 環境変化に対応したブランド農畜産物の
生産体制構築に取り組みます。

2 | 地域農業の担い手確保により、
未来に繋ぐ生産環境づくりに取り組みます。

3 | 専門的な人材の育成と職員のスキルアップにより、
JA営農指導の強化に取り組みます。

1

環境変化に対応したブランド農畜産物の生産体制構築に取り組みます。

- 特産主要5品目を中心とした持続可能な特産物生産体制の構築

丹波ひかみ米



目 標	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)
栽培面積	2,500ha	2,450ha	2,400ha
集荷数量	120,000袋	125,000袋	130,000袋

● 単収量向上のための試験・指導

- ・生育調査・収量調査・栽培試験を基に単収技術向上をめざします。



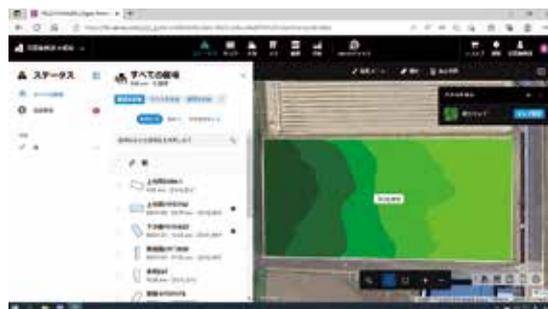
生育調査



試験圃場効果調査

● 新技術の利活用による省力化及び収量安定化の取り組み

- ・スマート農業技術による作業省力化を目指します。
- ・センシング技術の活用による収量安定化を目指します。



ザルビオシステムによる圃場管理

● 産米精算単価の向上・再生産可能価格の実現に向けた取り組み

- ・契約栽培の実施による安定価格の実現に努めます。



夢たんば

産米助成

項目	支援策	助成基準
フレコン出荷対策	JAへフレコンで出荷する場合、計量器等整備費用の一部を助成します。	整備費の1/2 ※上限10万円
水稻土づくり奨励	水稻土壌改良資材のフレコン散布を利用された場合、散布料金をJAが負担します。	散布料無料
水稻共同防除助成	集落の合意形成により、水稻の共同防除を集落単位で実施された場合に助成金をお支払いします。	10a当たり500円
産米大口出荷奨励	大規模稲作農家の支援として、産米出荷に対し奨励金をお支払いします。	産米出荷量に応じた助成
産米出荷契約対策	安定した産米数量を確保し有利販売につなげるため、出荷契約数量内で奨励金をお支払いします。	出荷数量1袋100円
New! 水稻高品質対策支援	水稻カメムシ防除剤キラップ購入に対し、購入代金の一部を助成します。	1袋当たり100円 (当年度のJA出荷実績がある) (生産者は1袋当たり500円) ※水稻共同防除助成に伴う薬剤代金は対象外です

丹波大納言小豆



目 標	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)
栽培者	650人	650人	650人
栽培面積	230ha	250ha	250ha
集荷数量	230トン	250トン	250トン

- 機械化体系確立による作業効率化・労力軽減化を図ります。
- 気象・土壌データを活用した収量安定化に努めます。
- 高温下における安定生産技術の確立を目指します。
- 初心者向け生産者育成講習会を開催します。

1

環境変化に対応したブランド農畜産物の生産体制構築に取り組みます。



うね立て播種同時施肥



減収対策講習会



土壌水分試験

大納言小豆助成

項目	支援策	助成基準
大納言小豆 大口出荷奨励	大納言小豆大口出荷者の支援として、大納言小豆出荷に対し奨励金をお支払いします。	大納言小豆出荷量に応じた助成
小豆種子助成	大納言小豆種子の予約購入に対して助成金をお支払いします。	購入金額の1/2 ※購入上限・下限量及び出荷要件有
小豆共同防除助成	集落の合意形成により、小豆の共同防除を集落単位で実施された場合に助成金をお支払いします。	10a当たり500円
New! 小豆ブランド基盤 維持支援金	小豆用肥料の対象商品予約購入代金の一部を助成します。	対象商品代金の30% ※予約申込時に令和7年度出荷協定書を提出された方に限ります

丹波栗



目標	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)
出荷者	300人	300人	300人
集荷数量	20トン	20トン	20トン

- ドローンによる防除試験を継続して実施します。
- 剪定講習会の実施及び剪定士養成による剪定技術向上をめざします。



冬季剪定講習会



ドローン防除試験

栗助成		
項目	支援策	助成基準
栗大口出荷奨励	栗大口出荷者の支援として、栗出荷に対し奨励金をお支払いします。	栗出荷量に応じた助成
栗剪定作業奨励	栗剪定作業をJAに委託した場合に、作業料金の一部を助成します。 当年度のJA共撰出荷実績がある生産者が対象です。	作業料金の1/2 ※10a当たり上限2万円
New! 栗出荷対策	有利販売に向けて、栗の共撰(特選・一般)出荷に対して奨励金を支払います。	1kg当たり100円 ※共撰出荷の規格L以上に限りません

丹波黒大豆



目標	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)
栽培者	1,100人	1,100人	1,100人
栽培面積	180ha	180ha	180ha
集荷数量	20トン	20トン	20トン

- 省力化技術の試験栽培を実施します。
- 初心者向け生産者育成講習会を開催します。



初心者講習会



現地講習会

1

環境変化に対応したブランド農畜産物の生産体制構築に取り組みます。

黒大豆助成		
項目	支援策	助成基準
黒大豆大口出荷奨励	黒大豆大口出荷者の支援として、黒大豆出荷に対し奨励金をお支払いします。	黒大豆出荷量に応じた助成
黒大豆・黒枝豆種子助成	黒大豆・黒枝豆種子の予約購入に対して助成金をお支払いします。	購入金額の1/2 ※購入上限・下限量及び出荷要件有

丹波山の芋

目標	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)
栽培者	50人	52人	54人
栽培面積	4.8ha	4.8ha	4.8ha
集荷数量	50トン	50トン	50トン

- 有利販売のための新規取引先を開拓します。
- 初心者向け生産者育成講習会を開催します。



栽培手引書



山の芋

山の芋助成		
項目	支援策	助成基準
山の芋大口出荷奨励	山の芋大口出荷者の支援として、山の芋出荷に対し奨励金をお支払いします。	山の芋出荷量に応じた助成
山の芋種子助成	山の芋種子の予約購入に対して助成金をお支払いします。	購入金額の1/2 ※購入上限・下限量及び出荷要件有

● **とれたて野菜直売所を通じた
所得増大・生産拡大**

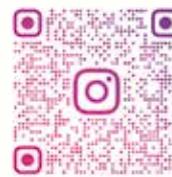
- 集客アップに向けたPR戦略の確立
- 季節メイン商品毎の栽培講習会の実施



加工品衛生管理講習会



Instagram開設



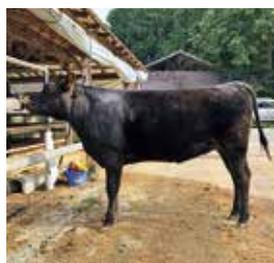
QRコード

お得情報
発信中

項目	支援策	助成基準
新規出荷者奨励金	新規出荷から3年以内の出荷者が年間で一定額以上出荷された場合、奨励金をお支払いします。	年間売上額の1% (対象は委託販売品)
繁忙期出荷奨励金	JA直売所への8月～10月の繁忙期出荷に対し、奨励金をお支払いします。	8・9・10月の売上額の3% (対象は委託販売品)

● **畜産**

- 畜産農家の経営規模拡大と持続可能な経営を支援し、生産基盤の維持・強化を図ります。
- 自給飼料の増産を推進し、農地の利活用と畜産農家の所得向上を図ります。



飼料用稲の収穫作業

項目	支援策
新・但馬牛増頭促進助成	但馬牛繁殖雌牛の増頭を目的とした導入、保留に対して助成金をお支払いします。(JA・行政一体支援事業)

2 地域農業の担い手確保により、 未来に繋ぐ生産環境づくりに取り組みます。

●丹波市農産物の更なる振興

- 営農支援積立金を活用した農家支援策をすすめます。
- スマート農業の活用により農作業の省力化、生産性の向上につとめます。
- SNSの有効活用により、栽培技術情報等のリアルタイムな情報提供につとめます。
- eコマース（ネット販売等）での販路拡大をすすめます。

LINEをやっているだけで登録は簡単!!

<登録方法> ※①②のどちらかで登録してください。

- ①LINE→【友だち追加】→【QRコード】より下のQRコードを読み取って登録
- ②LINE→【友だち追加】→【ID検索】→【@119xtttb】で登録



このQRコードを読み取って登録!!



JAタウンでのネット販売

●地域支援

- 地域の農業後継者不足・遊休農地抑制の受け皿として、(株)アグリサポートたんばの農業経営を拡大します。



- **管内農業の持続的な発展に向け、地域担い手の確保と育成支援に取り組みます。**
- 定年帰農希望者や新規就農者等へのセミナー実施により農家のスキルアップにつとめます。
- 直売所を核とした、就農支援体制の充実を図ります。
- (株)アグリサポートたんばにて新規就農者研修生を受け入れ新規就農者の育成につとめます。

その他助成

項目	支援策
パイプハウス設置助成	軟弱野菜あるいはJAが定める主要特産物の出荷を目的としたハウスの設置に対して、設置経費の一部を助成します。
生産組合活動助成	JAとの取引がある農産物生産組織および農作業受託組織等に対して、活動経費の一部を助成します。
農業資金活用助成	当JA要領で指定した農業資金を借入された場合、借入利息および保証料を一定期間全額助成します。
共同機械導入助成	地域・農会・集落営農組織等が共同機械を導入される場合、導入費用の一部を助成します。
新規就農者支援	丹波市が認定した新規就農者で、JAへの農産物出荷額が一定水準に達した場合に、初期投資額の一部を助成します。
災害対策支援助成	主要特産物において災害等により著しく収益が減少し組合長が必要と認めた場合にお支払いします。

- **営農指導力の強化に取り組みます。**
- 出向く活動の推進による営農指導の充実
- 規模に応じた担い手への経営指導



営農渉外活動

2 地域農業の担い手確保により、 未来に繋ぐ生産環境づくりに取り組みます。

- スマート農業技術等の新技術の利活用により省力化と収量安定化へ取り組みます。

- スマート農業技術による作業省力化
- センシング技術の活用による収量安定化
- スマート農機の提案により、省力化はもちろん、効率の良い持続可能な農業の実現に貢献するとともに、農作業安全を推進します。



可変施肥による水稻直播栽培試験

- 管内農業の未来を守る為、環境に配慮した安心安全な農畜産物を生産できる環境を整えていきます。

- グリーン化に向けた取組



LINEによる被覆肥料
プラスチック流出対策



土壌分析による適性施肥

3 専門的な人材の育成と職員のスキルアップにより、JA 営農指導の強化に取り組みます。

- 資格試験等積極的に受験することにより職員のスキルアップを図ります。
- 内外研修会に参加し、担い手対応力強化を図ります。
- 営農渉外活動を強化し、組合員・利用者のJA利用率向上につとめます。
- きめ細やかな栽培技術の指導を強化し、環境変化に対応した収量安定化技術を普及します。



職員研修会

JA丹波ひかみ 特産マップ



JA丹波ひかみ管内の事業所

● 柏原営農経済センター
柏原町柏原 2519 TEL.72-0131

● 山南羽荷受施設
山南町井原 714-1 TEL.77-1897

● 青垣営農経済センター
青垣町佐治 114-1 TEL.87-0010

● 市島羽荷受施設
市島町北岡本 76 TEL.85-0020

● とれたて野菜直売所
氷上町市辺 440 TEL.82-5130

● 本店営農経済部
氷上町市辺 440 TEL.82-5349

● 柏原ライスセンター
柏原町柏原 2522 TEL.72-0131

● 氷上営農経済センター
氷上町市辺 440 TEL.82-8820

● 青垣ライスセンター
青垣町沢野 891 TEL.87-1585

● 春日営農経済センター
春日町野村 460 TEL.74-3190

● 畜産センター
氷上町石生 550 TEL.82-6136

● 特産センター
柏原町柏原 2519 TEL.72-1200

● 山南営農経済センター
山南町奥 188-1 TEL.77-0024

● 氷上カントリーエレベーター
氷上町井中 172-1 TEL.82-3172

● 市島営農経済センター
市島町北岡本 76 TEL.85-0020

● 春日ライスセンター
春日町野村 438 TEL.74-3341

● 農機センター
春日町野村 2128 TEL.74-0169



ゆめ
—希望とuringおいのあるまちづくり—
JA 丹波ひかみ

兵庫県丹波市氷上町市辺440番地 TEL.0795-82-0170
<https://ja-tanbahikami.or.jp/>

